

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	農業基盤整備事業			事業番号	23-101
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	経済環境部	大町 徹	農業振興課農林整備担当	佐野 直希	

計 画 (Plan)

総合計画体系	活力	まちづくり目標	3	個性豊かで活力あるまち	
		基本政策	6	産業の活力があふれる元気なまちづくり	
		施策展開の方向	10	地域の産業が盛んなまちをつくる	
		施策	23	地域とつながる都市農業・森林づくりの推進	
予算事業名	農業基盤整備促進事業 農地耕作条件改善事業				
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務	(選択してください)→		法令上の位置づけ	できる規定がある
事業開始年度	開始年度	平成24年度	～	終了年度	
関連法令等	土地改良法、神奈川県土地改良事業等補助金交付要綱				
国・県の計画等	農業農村整備事業管理計画	計画期間	平成28年度～		
関連個別計画	農地耕作条件改善計画	計画期間	平成28年度～		
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	農業従事者の高齢化に伴い、将来の担い手不足により耕作放棄地が増加傾向にあるなかで、食料の安定供給を確保し、農業の持続的発展を図っていくためには、新規就農者を確保し、その育成を図ることが課題となっています。また、農地が農地として維持され将来にわたり農用地の機能が十分に発揮されることを確保するとともに、集積により規模拡大に取り組む担い手の負担を軽減するためにも農業基盤の整備が求められています。				
目的 (何をどうしたいのか)	農業経営と農村環境の向上を図るため、用排水路や農道、取水堰等の農業基盤施設の整備を進めます。				
主な対象 (誰・何を対象に)	当地域の耕作者				
事業内容 (手段、手法など)	・基盤整備が必要な地区(下小稲葉地区等)の農道、水路等の整備を行います。				
事業行程	項目	年度			
		令和3年度	令和4年度		
	農道の整備	用地補償	用地補償、工事		
	水路の整備	工事	工事		
目 標	【指標名】	【現状値】	年度		
			令和3年度	令和4年度	
	農道の整備延長	L=357.1m (令和2年度)	—	L=210m	



事業実施 (Do)

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	国庫補助金を活用した事業進捗(水路整備工事、用地取得、農道整備工事)を滞りなく行えるよう、関係機関(県及び地元等)との調整を行いながら取組を進めます。		
実施方法 〔選択・記入〕	<input checked="" type="checkbox"/> すべて直接実施 <input type="checkbox"/> 左記以外		
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者
	<input type="checkbox"/> 補助金		補助先
	<input type="checkbox"/> その他		具体的内容
実施結果	項目	年度	
		令和3年度	令和4年度
	農道の整備	測量、設計	用地補償、工事
	水路の整備	測量、設計、工事	工事
実施した取組の内容	令和4年度へ繰越した水路整備工事が完了し、令和5年度へ繰越した農道・水路工事の一部を実施しました。		
目標の達成状況	【指標名】	【現状値】	年度
			令和3年度
	農道の整備延長	L=357.1m (令和2年度)	—

コスト	年度	令和3年度 実績				令和4年度 実績				
	事業費合計 (a)	72,790	千円	85,841	千円					
	内訳	国県支出金 ①	43,596	千円	58,149	千円				
		地方債 ②	28,200	千円	26,200	千円				
		その他特財 ③	0	千円	0	千円				
		一般財源 (a)-①-②-③	994	千円	1,492	千円				
	国県支出金の内容	農地耕作条件改善事業補助金								
	その他特財の内容	受益者負担	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		前回の改定時期					
		その他								
	人件費	正規職員	0.56	人	4,581	千円	2.22	人	19,025	千円
		その他の職員	0	人	0	千円	0	人	0	千円
		人件費合計 (b)	0.56	人	4,581	千円	2.22	人	19,025	千円
	トータルコスト (a)+(b)		77,371	千円	104,866 千円					
	単位当たりコスト	対象数	当地域の耕作者			単位	当地域の耕作者			単位
		定義								
対象数		151	戸	151 戸						
総事業費 / 対象数		512,391	円	694,477 円						

評 価 (Check)				
進捗状況 [選択・記入]	<input type="radio"/> 計画どおり (A) <input checked="" type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	B	左記判断理由	新型コロナウイルスの影響による設計・測量業務の遅れが生じたことで令和4年度に繰越した工事が完成しました。また、地元調整に時間を要したことで現年度予算工事が繰越工事となりました。
実施水準 [選択・記入]	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input checked="" type="radio"/> 一律に比較できない事業	—	他都市の事業内容等	事業規模や整備内容により、一律に比較できない事業です。
有効性 [選択・記入]	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左記判断理由	農道や用排水路を整備することにより、効率的な営農が図られます。
効率性 [選択・記入]	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記判断理由	補助金を活用して農業基盤整備を促進し、地域農業の生産性を向上することができました。


 取組内容の改善 (Action) へ

取組内容の改善 (Action)	
所管部長による総評	農業経営の安定化と農業環境の向上を図るためには、農道や用排水路等の基盤整備は必要であると考えます。このため、国の補助事業を活用した本事業は計画的に推進していく必要があります。